

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		岩瀬運動場管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020402000086
						単独/補助	単独		090501
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	スポーツ振興課
総合計画の施策名		0204 生涯スポーツ活動の振興						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	スポーツ振興G
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興						担当者名	
手段名		02 ②快適な施設利用の推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	02	03	00	運動場管理事業 (岩)		
法令根拠		桜川市体育施設設置及び管理に関する条例				単年度繰返し (昭和48 年度~)			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
所在 桜川市青柳283 軟式野球1面 ソフトボール2面	施設の維持管理・委託契約・安全管理・貸出
【事務事業の手段】 ・桜川市が管理運営する事業である。 ・運動場の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来る。 ・利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収している。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
施設の維持管理・委託契約・安全管理・貸出	利用可能日数	日	273.00	306.00	309.00	309.00	309.00
	保守・整備日数	日	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	桜川市人口 (常住人口)	人	38,422.00	37,653.00	37,264.00	36,885.00	36,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民のスポーツ活動の促進、体力づくり、健康づくりを安全に行う	利用者延べ人数 (申請書に基づく)	人	301.00	485.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0		
		県支出金 千円	0	0	0		
		地方債 千円	0	0	0		
		使用料・手数料 千円	15	15	15		
		その他 千円	0	0	0		
		一般財源 千円	452	452	452		
		事業費計 (A) 千円	467	467	467		
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人			

04年度事業費 実績 (千円)		05年度事業費 予算 (千円)	
10 需用費	30		
12 委託料	249		
13 使用料及び賃借料	188		
	合計	467	合計
			467

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する			

事務事業名	岩瀬運動場管理運営事業	事務事業No.	20402000086	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・岩瀬運動場の建設に伴い、昭和48年12月から施設の利用が開始された。当時は、岩瀬町内で唯一ナイター設備の整った施設であったが、現在は照明塔の照明は撤去されている。 倉庫 234㎡ 機械室 46㎡ トイレ					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・老朽化により使いづらいとの声が聞こえるようになってきている。修繕については、予算面で即応出来ない状態があり、利用者に不便をかけている。 ・利用団体も少なくなっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	運動場の維持管理を行い、市民がスポーツを楽しむことができるようになることで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来る」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	現状その他に大きな運動場があるため、施設としては現状維持が妥当である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	維持管理のための人員は、市内のスポーツ施設すべてを賄っているため、常駐者はいない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担の原則から、使用料(減免)の見直しを行い、現状では公平性は確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者は減少したが、市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下	維持		×	×	低下		×	×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○	×																									
低下	維持		×	×																									
	低下		×	×																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑤																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>